

高市区地区懇談会 2月11日（木・祝） 13：00～15：00

**司会** 皆さん、こんにちは、ただ今から高市区の地区懇談会を始めます。まず初めに、高市区長さんごあいさつをよろしくお願いします。

**区長** 本日は、地区懇談会を開催したところ、佐川町長さんをはじめ各課長さん、ようこそ高市へお越しく下さいました。まだまだ朝は寒いのですが、高市にもようやく春が訪れようとしています。

はじめての地区懇談会で行政に対するご意見等、希望等、地区の皆さんの意見もあります。また、それらを聞いていただいて、この地区懇談会が有意義なものになりますよう、よろしくお願いします。

**司会** ありがとうございます。続きまして、佐川町長がごあいさつ申し上げます。

**町長** 皆さんこんにちは、今日は、高市地区の地区懇談会を開催したところ、昼間の時間帯、またお休みのところ、このように多くの皆さんにご参集いただきありがとうございます。平素、皆さまにおかれましては、町行政に各般にわたりご尽力をいただいていることにつきまして、お礼を申し上げたいと思っております。

さて、私、町長に就任させていただきまして、3年が経ちました。就任当初から地域の皆さんのご意見を聞いて、いろんなことを町政に反映したいということで、地区懇談会を開催させていただきまして、町内を回っております。広田の地域につきましては、満穂区の次に今回の高市区となります。各地区要望のあったところへ出向き、いろんな意見を聞きたい、ということで回っております。今日は、副町長、教育長、担当課長が参加しております。今回事前に区長さんよりご要望を聞いておりますが、そのことについて回答させていただきます。その後どういったご意見でもかまいませんので、皆さんの忌憚のないご意見をお伺いしまして、いろんなことを地区懇談会で話していただきたいと思っております。また、この広田の地域については小学校の統合の問題もありますので、皆さま方にはいろいろなことをご心配を掛けていると思っております。どういった意見でもかまいませんので、十分に皆さまの意見を頂戴し、町政につなげていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。終わりになりますが、この高市区がますます発展されることを心からご祈念申し上げて、開会のごあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

**司会** 次に役場から出席しています担当課長から自己紹介をします。

役場出席課長自己紹介

**司会** この会を進めるうえで、皆さまの発言等を記録させていただき、ホームページで紹介させていただくために、会の発言を録音することをご了承ください。

それではさっそく、地区懇談会に移らせていただきます。事前に区長さんより要望をお伺いしております。そちらから順に説明させていただきます。

まず初めに、町道各路線の改修について伺っております。その件について建設課長がご説明します。

**建設課長** それでは、私の方から説明させていただきます。町道の工事につきましては、各区長さんの要望を受け実施をしております。今回区長さんから要望を受けております箇所につきましては、早速、区長さんと現場を見て、前向きに対応させていただきます。また区長さんからの要望のほかに、些細なことでもかまいませんので、町道、農道、水路のことに関しましては区長さんに言っていただき、建設課に相談していただければと思います。ただ、沢山ある場合は、順位を付けて実施をしますので、若干お待ちしていただくことがございますのでご了承ください。以上です。

**司会** 区長さん何かありますか。

**区長** 役場に依頼しているのが、石上線の水路と、平畑線の舗装、あと、奥城線の崩れたところの改修工事、この3点は要望しています。それと、前に言っておりました、鴨滝線で集会所の手前がありました。

**建設課長** その件は、うちの係長の方に言っていますか。

**区長** 前に言っていたと思います。

**建設課長** 分かりました、確認してお答えします。

**町長** 道路の舗装が悪いところとか、言っていただいたら修理はすぐ行います。また水路の改修とかですが、最近雨が集中的に降ったりしますので、水路をちよっと整備しておけば、災害が防げたりすることがありますので、見ていただ

いて要望をあげていただければと思います。基本的には、区長さんを通じて区長会で要望箇所を出していただきまして、それを改修していくのが実情でございます。県道につきましても、町の建設課を通じて県の方に要望をあげます。しかし、県の方も予算が厳しくなってきていますので、河川改修などにつきましては、なかなかすぐに改修することが難しくなってきていますが、言っていただければと思います。

**住民A** よろしいでしょうか、町道の関係なのですが、2・3カ所要望箇所があるのですが、区長を通じた方がよろしいでしょうか。

**建設課長** どうぞ言ってください、ただ、現場を区長さんに見に行かなければなりませんので。

**住民A** 1つは、町道平畑線の夫婦嶽付近の3段のカーブの場所ですが、2つ目のカーブの場所のヒューム管が傷んでいます。そこで私の方で、バックホーで掘って水が流れるようにはしていたのですが、補修がずっとされていないため、道路の法面が水で削られてしまっている状態になっています。もう1点は、町道石上線のお墓の場所なのですが、4トンユニック車が回ることができない幅になっています。その場所を広げてもらうか、お墓の手前の場所から曲がれるように改修をしてもらえないでしょうか。

**町長** この件は区長さんから要望が上がってきていますので、調査させていただきます。

**建設課長** 今言われました、路側帯を直すのか、山を削ればいいのか現地で教えてください。

**住民A** それともう1つは、町にお世話になりまして材料支給で、コンクリートを打っているのですが、町道山谷日ノ浦線なのですが、車が通れない場所がありますし、水たまりもあります。

**町長** 町道山谷日ノ浦線は、未舗装区間の舗装について要望が出ております。遠慮なく言っていただければと思います。

**住民A** 予算が限られていますので、無理は言えないと思いますが。

**建設課長** 工事に順番を付けてでもやりますので。

**住民B** いいですか。町道鴨滝線のことですが、これは区長さんが要望していることと思いますが、道路の擁壁が倒れて、水路をふさいでいるような状態です。一応内容だけご説明させていただきました。

**住民C** 県道の関係なのですが、台風の時期に水がたくさん出てくる場所があります。それと、最近森林の補助事業で間伐をしているのですが、その関係で林道を作ったところの水が県道に流れ込んでいるところがあります。そのような場所に、土止めを作って水が落ちないようにしているのですが、その水が私の家の裏の方に入ってくるような状態になっているのです。県の方も一緒に見に来ていただいた時があるのですが、その時、私の家の方に水が入ってこないように柵を作って、水量を調整するようにするといっていました。いまだにこの工事がされていません。こういった状況にあるかお伺いしたかったのですが。

**建設課長** この件は改めて、県の方に確認をし、区長さんの方にお答えさせていただきます。

**司会** 道路関係についてはほかにはないでしょうか。

**町長** 気が付いたらいつでも言っていたらと思います。

**住民A** 県に要望するのでしたら、今年雪がたくさん降ったのですが、町道の除雪を滞りなくしていただいたのですが、県道の除雪の方についてですが、除雪を1回だけしたのでは、雪が両端に40 cmくらい高く置かれた状態で、夜寒くなってその雪が凍ってしまうと、離合をする場所が無くなっている状態になっています。以前から離合ができるような除雪をしてほしいと言っています。県の方も除雪の状況を見に来ていただけていないのかなと考えています。

**町長** 除雪については、その作業を行ってくださる業者さんの技量によっても違うかとは思いますが…

**建設課長** この件については、この要望を県の方にしてみます。要望が通るかどうかは分かりませんが…、前に、県の方にはその旨伝えましたが、今いわれた離合ができる除雪をしてもらうように再度要望してみます。

司会 道路関係については何かありませんか。

無いようでしたら次の議題に移らせていただきます。次は、学校の統合についてですが。この件について区長さん何か補足はありますか。

区長 補足と言っではないのですが。

司会 それでは先に、教育委員会からの説明をしたいと思います。

教育長 教育長の武智です。小中学校、幼稚園、それに今は保育所の方が教育委員会の所管となっています。子どもたちの健全育成について、日ごろより地域で取り組んでいただいております。また、議題に上っております、広田地域の小学校の統合について、話がでてきているわけですが、最初は教育委員会からどのようにするかといった話が出たわけではないのですが、話が進んでおります。最初は、平成 25 年頃であったと思いますが、「元気ひろたの会」から、学校のあり方として話が出てきました。そして、26 年に、教育委員会の方に、「統合も必要ではないのであろうか」との話が町の P T A 連絡協議会の会議の場に持ち込まれ、町長、議会の方に「広田の小学校の統合について、取り組んで欲しい。」と要望がありました。その後、広田地域でも話し合いがもたれ、玉谷小学校、広田小学校、高市小学校の P T A の方が相談され、統合委員会といった形で、「広田地域の小学校の統合といった形で取りまとめてほしい」との要望が、町長、議長の方にでてきました。その要望をもとに、教育委員会として、取りまとめをしていかなければならないと始まったのが、今年の 4 月です。まず 3 小学校の保護者、広田地域の未就学の子どもを持つ世帯、23 世帯の方を対象に話し合いを今年の 7 月に行い、その後、第 4 回まで、話し合いが行われました。その中にはいろいろな意見がありました。「自分の住んでいる地区の学校が無くなるのはさびしい。」それぞれの地区にそのような意見がありました。そして、今年の 1 月 14 日の「愛媛新聞」に、今後の広田地区の小学校の方針といった形で報道がありました。また、今年の 12 月から今年の 1 月にかけて、区長さんを通じて統合の話し合いがこのように進んでいますといった内容の通知をさせていただいております。現在そういった経過をたどっております。

大筋として、広田地域の小学校を広田小学校 1 つにして、地域の小学校を維持していくといった考え方で今進んでおります。ここで大切なのは、保護者の思いを尊重していくといったことが基本です。しかし、それぞれいろいろな思いもありますので、決断といったことは難しいのですが、皆さん一致団結して盛

り上がっていかねばならない、といったことが大切なのではないでしょうか。

この高市小学校においても、山村留学センターを地域の方が一緒になって盛り上げていただき、全国でも有数の留学センターとして24年間続いて来ています。本当に、この24年間は、地域と学校の密接なかかわりとして、全国的な模範となっています。これは、広田地域に小学校が1つになったとしても続けていかなければならないものと考えています。私も平成19年から6年間、留学センター長として勤めさせていただきまし、その思いを持ち続けております。

また、統合の詳細なことについては、学校教育課長の方から説明します。私からは概略をお話しさせていただきました。皆様のご意見をお聞かせいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

**学校教育課長** それでは、広田地域の小学校の統合につきまして、資料をもとに説明いたします。

まず1番目ですが、「広田地域の皆さんへ」ということで、これは、年末年始にかけて、広田地域全戸へ区長さんを通じてお配りさせていただきました。小学校の統合のお知らせで、「平成29年4月1日に広田小学校、玉谷小学校、高市小学校を統合します。統合後は広田小学校を使用します。」とあります。というわけで、統合に至るまでの経過についてご説明させていただきます。

まず、要望書・嘆願書の提出状況ですが、その前に、平成23・24年に、3校区ごとに、小学校のあり方ということで、教育委員会事務局主催で懇談会を行っています。その後、平成26年5月に、砥部町PTA連絡協議会から、広田地区小学校の存続。統廃合に関する要望書ということで、広田地域の3小学校の児童減少に伴い、それぞれの地域の意見を聞いていただき適正な判断を促してほしいといった趣旨であります。続いて昨年2月に、任意の会ではありますが、広田地区小学校検討会、玉谷・広田・高市小学校のPTAと広田地域の未就学園児の保護者による団体から、広田地区の3小学校の統合に関する要望書が出されました。中身につきましては、平成28年4月に3小学校を統合して欲しい、統合後は広田小学校に新しい小学校を新設するという、通学にはスクールバスを運行して欲しい、また留学センターについては、留学生が増える対策を講じてほしいなど、10項目について要望がありました。この要望書から、保護者は、早期の統合を望んでいることが、私ども教育委員会に伝わりました。それから、同日、高市地区と町外からの賛同者から、山村留学センターの存続嘆願書ということで、中身として、高市小学校あつての留学センターということで、留学センターを残して、高市小学校への統合を要望するというものでした。それで、提出後の経緯として次のページですが、住民基本台帳を基に推計でき

る今後の広田地区の児童の推移を入れております。本年度は、広田小学校区が9名、玉谷小学校区が5名、高市小学校が3名です。この表については、留学センターの児童については、不安定要素がありますので含んでおりません。

それから協議の主な経緯ですが、昨年4月に、要望書嘆願書を受けて関係団体と意見の交換の開始を行いました。そして同年5月、町議会の全員協議会において、関係団体との意見交換を行うことのできることを得ました。そして7月に、地域の代表である、広田地域審議会、広田区長会において、進め方としてまず保護者の意見を確認するということが決定していただきました。その決定を受けて、8月9日に保護者会を2回開いております。その協議の中で、いずれかの小学校への統合は必要であることを出席者全員の一致で決定しました。そして統合先について、話し合いを行ったわけですが、保護者ではどの小学校にするかは決めることができないということで、保護者の要望ということで、全保護者へのアンケートを取って、保護者会の意見としようということになりました。保護者会としては、そのアンケートの結果については、尊重するということになり、その了解を持ってアンケートを行っております。留学センターについては、当初より存続することを申し上げております。地域より、高市小学校とセットでといった要望は聞いておりますが、3校同じ条件ということでアンケートを実施いたしました。アンケートの中身につきましては資料にありますが、全保護者23世帯の夫婦で1世帯2票ということです。統合先についてですが、保護者より砥部小学校も選択肢の一つに入れてほしいということでしたので、4校の小学校の中より統合先を選んでもらいました。結果については、ご覧の通り、統合先は広田小学校、統合時期は平成29年4月が多数となりましたので、これを保護者会の総意の意見と判断しております。それから10月に、この結果を保護者会で伝えております。そして11月に広田地域審議会、広田地区区長会で、保護者の方の意見を報告させていただき、保護者の意見を尊重することを確認しました。それを受け12月に、教育委員会、議員全員協議会で、協議経緯の説明と、平成29年4月を目標にして、統合先を広田小学校にすることの了承を受け、この1枚目のお知らせの文書が皆さまの世帯に配られるようになりました。次の3ページ、4ページに、詳しく時系列の事項を記載しております。

つぎに今の状況ですが、4ページを見てください。今年の1月22日に、統合に向けた準備委員会を設立しております。その中で、広田小学校への統合方法ですが、これは広田小学校への吸収というものでなく、3校が統合という形で、3校対等統合にしてほしいという複数の意見がありました。その会では、教育委員会で決定してもらおうということになりましたが、事務局としましては、統合の方法は、非常に重要であると考えております。準備会でさまざまな意見に対しまして、今月末までにでも準備委員会を再度招集しまして、この意見に

ついて協議してもらおう方向です。以上が統合の経緯、現在の状況です。

**司会** 説明が終わりましたが、何かこの件についてご発言はありませんか。

**区長** さきほど、武智教育長よりご発言がありましたが、私たち高市の住民も一生懸命やっていました、統合は、本当に残念なことです。一部の意見により学校が無くなってしまうものなのかと思うと淋しいことと考えます。留学センターが残ったとしても、高市小学校が無くなってしまえば、自分としては意味のないことと思っております。町の考えとしては、広田小学校に通うことで留学センターが存続できるということですが、高市小学校あつての留学センターと思っております。今更、統合をやめますと言っているわけではないと思いますが、その件についてお聞かせください。

**学校教育課長** 留学制度を行っているところは全国各地にあります。その中のすべての場所が、留学センターと、学校が近隣にあると言ったわけではありません。私どもも高市小学校で行うのが良いとは思いますが、広田小学校でも同じように、地域での体験といったことができるのではないかと考えています。教育委員会としても、それらのことを充分指導していきたいと考えております。高市小学校で、山村留学センターと高市地区のサポートといったことがベストであるとは思いますが、現在の児童数を考慮すると、このままでは難しいのではないかと、また保護者の希望といったこともありますので、ご理解をしていただければと思います。

**教育長** 高市小学校で留学生を受け入れるといったことは、距離的な面でメリットのあることであつたと思っております。しかし、学校での教育といったところ而言えば、広田小学校でも高市小学校でも、また玉谷小学校であつたとしても全て同じです。確かに、地区の取り組みとしては、今まで留学生を受け入れていた高市地区では、地域一丸となつて取り組んでいただけており、素晴らしいものです。できれば、この思いを広田全域に広げることができて、広田地域全域で留学生を迎え入れるようになればいいと考えております。広田小学校に通うことになると、通学バスといったことになるのですが、距離的なことをいえば、広田小学校から玉谷小学校は5分で移動することができます。高市小学校からだつと7分です。途中停車することを考えても、10分程度で移動が可能ですので、児童たちの負担は少ないのではないかと考えます。

**住民A** 統合についてはもう決まった結果なので、いろいろ言うことはできな



と思いますが、広田小学校に統合するのであれば、留学センターを存続する必要がないのではないかと、といった意見が区長さんからもできていたようです。統合は決定なのでそのことについて言うことはできないと、先の地域審議会で言われていますので、そのことについては言わないのですが、保護者が統合を望むのは、自分の子どもを、沢山の児童の中で教育してもらいたいからで、一部の方のそのような意見の流れで、3校統合といったことになり、本当に地域のことを考えて統合を望んでいるのか、統合先の2番目には、砥部小学校になっていますが、自分の子どもが小学校にいなくなったら、その後はどう考えているのか、今まで、高市地区で留学センターを盛り上げ高市小学校の存続をさせてきたものとしては、その辺りが不満です。

**学校教育課長** 今のご意見なのですが、それぞれの意見を聞く先で、自分の地区の小学校を残してほしい、もちろん玉谷小学校でもそのような意見ができています。小学校がなくなってしまうことを良しとする人はいません。特に高市の地区の方にはその思いが強い自負があるとは思いますが、これからの学校運営を考えますと、留学生を除くと平成29年度には広田地域に15人しか児童がいないことになります。留学センターを残さずに15人の児童だけの学校にするのか、留学センターを残してでも多くの児童の中で広田地域の学校運営をしていく方がよいのではないかと考えております。もちろん、何十年先のことは分かりませんが、広田の地域に児童を少しでも多くいる環境をつくるといった考えのもと、留学センターの存続を考えております。

**教育長** 留学センターは、利用者が5名を切ると休止することとなっていますが、そんなことにならないように人集めをしていきたいと思っています。また、廃校となった高市小学校についても、保護者や地域の方が利用しやすいようなものを、話し合いによって魅力ある施設になるようにしていきたいと思っています。

**住民D** センターの話しがでましたので、今、教育長から具体的な盛り上げ方についても話がありましたが、まだまだ各地区の思い、何より、この決定をした保護者が、留学センターの必要性を認識していないのではないかと思います。先日、高市小学校の学習発表会がありましたが、それに参加していただけたのも、数家庭でした。留学センターを盛り上げるために全体が取り組まなければならないとされているのに、現保護者の関心が低いようです。来年度の留学センターの利用希望が9名だったと思いますが、その内リピーターが4人で、現保護者の方のブログを見て参加しようとしたのが3人で、残りの2人が町のホ

ームページなどを見て決めたようです。そして、今利用している保護者の方々は、高市小学校が留学センター児童の受け入れをしなくなったら、もう来ないであろう、そうなると、留学センターの良さをお伝えすることができなくなる。何もしなかったら2人しか来ていないことになってしまいます。そういった現実的な数値を考慮していただきまして、総合戦略の中に、平成31年には25人といった数がでてきていますが、本当にそこを目指す政策があるのかなと、現在の保護者の理解もないまま、行政がいくら頑張ったとしてもそれは無理だと思います。ですので、今、統合の方向性が決まったと思っている保護者らに関心を持ってもらいたいと活動をしています、なかなか上手くいかない状態です。町長は、留学センターの入所式で、センターが地域の宝だと言ってくさいました。しかし、皆さん本当に宝と思ってくれているのです。宝であることをどのように伝えていくのか。あと、学校の距離ということですが、バス通学をしているところも全国的に見ればあることにはありますが、基本的に小学生は歩きで学校に通うのが通学圏だと思います。ですので、バス通学のデメリットも考慮したうえでバス通学を検討しなければならないと考えます。

**学校教育課長** 教育委員会で把握しております、来年度の留学センター利用者は13人です。平成29年度の統合といったことで、玉谷・広田小学校の保護者もまだ実感をお持ちできないのではないかと思います。しかし、統合前のこの1年間だけを考えるのではなく、統合されてからも留学センターの利用者確保については、継続的に考える必要があると思います。今後、統合準備会などで話し合いを持って、広田地域全体で留学センターについて考えてもらえるよう教育委員会としても指導していきたいと考えております。

**教育長** センターの利用者の保護者の外部へ向けての発信力は、とても強いと思っております。そういった人たちに、留学センターが高市小学校でなく広田小学校に代わっても、素晴らしいといったことを発信してもらうようにならないといけないと考えております。

**住民E** 私は生まれも育ちも広田なのですが、生まれたのは、総津地区です。結婚をして高市地区に来たのですが、地域性といったものを考えて、統合といったことは仕方がないことと思います。ただ高市というところは、全戸が高市小学校のPTAである、地域が密着して学校を盛り上げようとしている場所です。そういった中で、子どもたちが遠い場所から来ているということで、朝夕に声を掛けるであるとかをしていて、学校に協力しています。その中で、小学校の保護者の皆さんが統合をしたいと考えられたのであれば仕方がないことと

思います。ただこの統合の話が始まった時に、全戸PTAである高市地区にも話し合いがもたれていればよかったと思います。留学センターから広田小学校まで車で10分ということですが、高市小学校あつての留学センターと考えると残念で仕方ありません。

**住民B** 今意見を述べられた、住民Eさんが言っていた意見は私も同感です。ただ、この統合に関してですが、保護者らから出された5つか6つの要望が出たと思いますが、その要望が叶うといったことで統合するのか、それともその要望が叶うように努力するといったことで統合するのかその辺りをお伺いしたいと思います。

**町長** その件については、私がお答えします。今回の小学校の統合といった話は、私も行政をお預かりしている立場ではございますが、行政から統合を持ちかけたわけではありません。先ほどからも、お話しがありますように、地域の保護者から、児童が減ってきているため、町としても合併といったことに対して検討して欲しいというのが始まりでした。その中で、高市地域の人達の思いといった要望もでてきていました。その要望書は、地域の方と留学センターの保護者の方たちも含めた要望であったかと思います。そういった中でいろいろ協議を行いました。私も、自分の通っていた小学校が廃校になった経験を持っていますので、小学校が無くなる寂しさも十分理解しております。山村留学センターへの思いを先ほどの方もお話しされていましたが、玉谷小学校や広田小学校の地域の方たちが全員、留学センターについての認識を高く持っていたというわけでは、今のところないと思いますが、教育委員会として留学センターは素晴らしいものであり、今後も継続していかなければならない、広田地域全体で認識を高めてもらわなければならないものではないかと、行政を預かる立場として、この機会に山村留学制度そのものが、広田地域の意識を一つにして取り組んでいただけるようなものにしていくことが行政の取り組みではないかと考えております。この統合を考えていくうえで、山村留学を行っている高市小学校はそのまま残して、広田小学校と玉谷小学校2つを統合すればいいかというのは、行政としてはそこに収まりを付けるのは難しいことですので、そこは十分ご理解ください。それを踏まえて、先ほど学校教育課長も申しましたように、この広田地域にとって素晴らしい留学制度を残すためにどのようにすればいいのか、ふるさと創生で「まち・ひと・しごと」といったことが叫ばれていますが、なかなか特効薬というものは見つからないことです。そんな中で、山村留学制度といったことが、地域の活性化につながることであれば、この制度を残す意味があると考えています。

**住民C** 統合の流れといったものは、時代の流れとして仕方がないことと思います。今まで、地域で盛り上げる留学センターあつての高市小学校であったものが、広田小学校に統合され、広田全域のPTAの方々が広田地域全域あつての留学センターであり、広田小学校であるとの思いを持っていただきたいと考えます。そして、留学センターにどンドン人を迎えていただいて、広田小学校に留学センターから通ってもらうといったことになれば、高市地区の方々が協力することが可能と思いますが、そうでなければ高市地区だけが留学センターへの協力をするとといったことであれば、やる意味がないと思います。

**町長** まさにその通りです。玉谷地区、総津地区、高市地区が一丸になって盛り上げていくようにすることが、行政に求められていると思います。

**住民D** この全戸PTAであるこの地区の思いといったものを、高市小学校のPTA会長として汲み取れなかったことに対し申し訳なく思います。しかし、3小学校の中で高市のPTAの数が圧倒的に少ない中で、結果的に多数決といった方法での決め方は、高市地区、留学センターの思いといったものは、なかなか理解してもらえなかった、できれば、高市地区からの嘆願書が平成27年2月に提出されていたのですから、教育委員会としては高市の願望も踏まえた形で統合の進め方もしてもらいたかったと思います。まだ留学センターの意義が広田全域に広まっていない中、平成29年の統合が行われた時、留学センターの利用者が5人を切ってしまい、留学制度が休止してしまうのではないかと危惧しています。

**教育長** 高市地区の思いであるとかいったもの、いろいろな意見があると思いますので、それぞれの意見を調整して、集まった人たち全てが納得することはできないかもしれませんが、それらの意見をまとめていかなければいけないと考えています。

**住民D** 中学校の統合の時と比べると、スケジュールが1年早いように思われます。たぶん、未就学児童の保護者たちが早くしてもらいたいとの希望があつて早まっていたのかもしれませんが、このまま早く進めても大丈夫かなと思うことが1点と、要望書の中身ですが、学校教育課長の方から3校対等統合であるといった話なのですが、今のところ統合準備委員会の中では、広田小学校は閉校しないことになっています。玉谷小学校と高市小学校を閉校し平成29年4月に広田小学校でといった話になっています。これでは対等統合といった話

でなくなってきました。その理由として、忙しいからといった話です。閉校作業と開校作業を同時にするといったことで、準備も大変かとは思いますが、保護者の数も広田小学校は多いのですから、閉校の作業は広田小学校の保護者が行って、開校の作業を広田地域全体の保護者で行うことなので、できるかと思えます。しかし、広田小学校で閉校の作業ができないのであれば、できればもう1年延ばして新しい小学校を作ろうとか言った選択肢もあります。といったことで、保護者たちに、本当に1つになる学校を自分たちが責任を持って、統合したのだ、ということを経験してもらうために、統合準備委員会の進捗状況を説明する会を近く開催しようとしています。準備委員会には、保護者が8人ほど入っているのですが、全体の保護者からすると少ない人数ですので、それらの保護者たちに、平成29年4月の統合であれば、こういった形になりますよということを経験してもらいたいと思います。その中で、10項目の要望ですが、まだその内容が検討されていないようです。もちろん全部が叶うわけではないと理解しております。その要望を保護者自身が見直して、これとこれはやって欲しい、欲しいでなく、自分たちも協力してやるのだと、要望書の中身についても考えていく機会も提案する会を開催します。新しい学校でなくていいのか、留学センターの児童をいかにして確保していくのか、あと、大きな点として校区外をどうするのかといった問題を保護者自身が勉強して、保護者の方から教育委員会や地域に提案できるようにならなければいけないと感じています。しかし、現在の無関心な保護者が多い中で、どれ位なことができるか疑問ですので、その辺りを教育委員会にはバックアップして欲しいです。

**広田支所長** よろしいでしょうか。私は玉谷に住んでいまして、玉谷保育所、玉谷小学校、広田中学校を卒業しました。妻もそうですし、子どもたちもそうです。そういった中で、玉谷保育所が無くなり、広田中学校が無くなり、今度玉谷小学校が無くなる、非常に残念です。しかしながら、それが保護者の希望です。区長会の中でも統合に反対の意見もありました。しかし、保護者が自分たちの子どもの将来を見据えて決めたことなら仕方がない、と判断されました。何回か行われた保護者会の中でも統合についての異論はなかったように聞いております。多少反対はあったかもしれませんが、相対的には統合の方向になり、前向きに進んでいくことになっているようです。また、アンケートをとった結果も、統合する場所については、広田小学校が50%以上の方が賛成しているので、統合するといったことは間違いのないことです。その中で、高市地区の方の思いといったものは、他の地域に比べると非常に強いと感じております。また、私も留学センターに勤めていたこともありますので、この制度が素晴らしいものであることを知っております。それらを踏まえましても、保

護者からの熱い要望があり、区長会でも致し方がないといった判断をされています。また地域審議会でもそのような方向に進んでいます。言われることは非常に分かるのですが、元は保護者の意見として出てきたことですし、また、いろいろな意見を重ねていますが、統合するといった、この意見は変わっていないということになりますので、このまま進めていかなければいけないことであると考えます。また、言われております要望項目については、それは大事なことと認識していますが、それにこだわってしまいますと、大多数の方が希望している、平成29年4月の統合に間に合わなくなるのではないのでしょうか。また、住民Dさんが言われたように、準備委員会の時に広田小学校に統合するといったことについて、委員長が確認しましたが、3人の方は反対されたかとは思いますが、大多数の方は賛成されました。

**町長** 先ほど、住民Dさんの話の中で、このチラシに、統合後は広田小学校を使用しますとかいてありますが、玉谷小学校と、高市小学校を廃校して広田小学校に統合なのかということ玉谷の保護者からも聞きましたが、教育委員会に聞きますと、3つの小学校が廃校で、新しく学校を作ったといったことではないのか、たまたま場所が広田小学校であったということの話でいいのかと、名前についても、広田地域全域の小学校なので、広田小学校が良いとは思いますが、何か良い名前があればそれにしてもかまわないかと思えます。校歌にしても、新しいものにしてもかまわないかもしれません。当初は、吸収であるとかいった話はなかったように聞いています。話し合いを進めるうえで、保護者の中から吸収されるのではないかと、といった不安があったように教育委員会から聞いています。そういったことは、何か良い案があるのであればそれを採用すればいいと思います。これからの話し合いで、そのあたりは決めていけばいいと思います。

**区長** 統合するということであれば、広田小学校をそのまま続けていってもらったので良いのではないかと思います。広田小学校も何百年も続いている学校ですから、それをつぶして新しい学校が何年続くかもわかりません。伝統ある広田小学校ですから、そのまま続けていくのが1番ではないのでしょうか。統合は避けては通れないことです。ここにお集まりの皆さんも、そのことについては理解している、重要なのは、これから留学センターをいかにして盛り上げていけるかといったことです。

**町長** 留学センターは、小学校が統合したからといって、廃止する考えはもっていません。この山村留学は素晴らしいもので、県内でも唯一のもので、

残していかなければなりません。そのために、いかに留学生を確保していくかが問題です。広田地域全体でも、児童が増えることは地域の活性化につながることで、地域全体で取り組んでいく必要があると思います。留学生にとって、高市小学校で受ける授業も、広田小学校で受ける授業も同じです。ただ、留学生の保護者がバス通学ですることに対する違いをどのように判断されるかの心配はあります。しかし、山村留学の魅力は、留学センターの隣に小学校があるだけではありません。高市の自然や地域社会などの魅力が、留学制度を輝かしいものにしていただきたいと思います。ですので、地域の方や教育委員会が手を携えて、留学生の確保のために考えていこうではありませんか。

**住民F** ちょっといいですか、少し悲しかったのは、広田地域で小学校を残すといったことだったのに、統合先に砥部小学校を入れてほしいといった要望があったり、アンケートでは、統合先の第2希望の第1位は砥部小学校になってしまっています。広田地域の保護者の中にも、統合先が広田地区外でもいいと意見があるなか、町の方としては、留学制度は大事であると言っています。地域でバラバラな意見の中で、この1年で新しい留学センターの意義を見出すのは非常に難しい話ではないでしょうか。今の留学センターのいいところは、学校が近い、地域の協力があるといったメリットです。それがデメリットしか見えない今回の統合で、この留学センターを残すためのビジョンといったものを町はお持ちなのではないでしょうか。

**教育長** 広田地域で小学校が1つになりますので、周りの地域の中でも、素晴らしい学校経営がなされていると思われることが重要です。そのためには、教育施設や、ICT教育など考えられますが、大きな学校ではなかなかできないことも、小規模の学校なら対応がすぐできますし、教員の体制にしましても、今まで教頭配置ができなかった小学校に対し、教頭の配置ができるようになります。児童にしましても、学校が終わったあと、高市小学校の後を利用した研修とかもできます。何よりも地元の児童が、いろいろな経験を積むことができることが一番重要なことではないでしょうか。なかなか、納得のいくお話しではなかったかとは思いますが。

**住民D** 小規模校ということで、それをいかしたやり方として、英数特化校にすればとかの話もありましたが、果たして、それが広田で育てることの魅力につながるか、自然の中で育てると少し違うような気がします。一体どういった導き方で育てていくのが良いか、今の留学生の保護者には、自然の中で地域のコミュニティーがある高市地区で子どもが成長しているのが受け入れられて

います。街の中でできることを、この高市でする必要はない、この自然の中で育つことそれこそが今の留学利用者の保護者には受け入れられていることです。また、広田の自然の中で育っていくことが最大な魅力だと思いますが、そこを理解していただけない保護者が多いため、統合先に砥部小学校といったことになっているのだと思います。そういったことを、すごく考えていかなければならないのに、ただ統合先と時期について早々に決まっていた感じがします。

**学校教育課長** 私の最後の説明で申しあげましたが、第1回目の準備会で、留学センターが地域全域の問題であるとの考えから、3校同時に廃校し、新しい小学校を立ち上げるといった意見がその時に出てきたと思っています。今日もたくさんの意見がありました。今月中にでも、第2回目の準備委員会を開催し今回出てきたようなご意見を準備委員会でも言っていただき、教育委員会事務局としての回答もその場でさせていただきます。まだ準備委員会は1回しか開かれていません、この会を重ねることで、いろいろな意見や解決策も出て来るのではないのでしょうか。

**司会** それでは、この件については、今後開催される準備会でもご発言いただけるということですのでよろしいのでしょうか。次に、その他ということでは何かありますか。

**住民G** 私は、製材業を営んでおります。砥部町で武道場とか建設されておりますが、愛媛県産木材使用ということは明記されていますが、砥部町産木材といった縛りはありませんので、自分たちの親が植えた苗木が木材になってきていますので、公共の建物については、ぜひ町内産材の利用についてお考えください。

**町長** はい、わかりました。

**住民F** 私は2年前にこの地区に移住してきたのですが、県内の移住先で、砥部町はあまり移住について前向きでなかったように見受けられます。学校の統合の問題もそうですが、今テレビを見れば、地域創生であるとか地域おこしであるとかの話がよくあります。ぜひ、こういったことに前向きに取り組んでいただきたいと思います。今現在、高市の町営住宅にはずっと1戸空きがあります、教員住宅についても空きがあります。それらを有効活用するためにも、例えば、体験移住であるとかいったことを考えることはできないのでしょうか。



**町長** はい、この件についてですが、今年空き家調査を行う予定です。また、総合戦略の中に移住対策も盛り込んでおります。遅れておりますが、しっかり対策をとろうと考えております。

**副町長** このことは、できることは3月議会で予算を計上する様にしています。それから徐々に進めていくようにします。

**住民B** 温泉バスを高市の方まで走らせていただいております。また今回乗り合いタクシーということで、まだ利用をしたことはないのですが、行政としていろいろしていただき感謝しています。その中で、この地域は高齢者が多くなりました。運転をしないほうが良い高齢者が増えてきています。ですので、この制度をぜひ継続していただきたい。また、温泉バスの運行を、例えば週2回にさせていただけるのであれば、病院などの受診に利用できるのではないかと考えますので、よろしくをお願いします。

**司会** それではよろしいでしょうか。地区懇談会の終わりということで、副町長が終わりのご挨拶を申し上げます。

**副町長** それでは閉会の挨拶をさせていただきます。本日は地域懇談会を開催していただきありがとうございます。今日は長時間にわたりまして建設的なご意見をいただきました。このような話し合いの場を設けていただき誠にありがとうございました。今日の話し合いを録音させていただいておりますので、持ち帰って慎重に協議していきたいと考えております。特に小学校の統合・廃校の問題につきましては、焦らずに慎重に運んでいかなければならないと考えております。ぜひご協力をお願いしたらと思っております。本日は非常に暖かい日になりましたが、「椿さん」が今度の日曜日に始まりますので、もう一度寒波が来るのではないかと心配しております。体に気をつけて健康に過ごしていただきたいと思っております。今後とも砥部町の発展のためにご尽力をいただきたいと思います。それではこれもちまして懇談会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。